



二島中学校だより

11号

＜学校教育目標＞

思いやりの心をもつ、自立した生徒の育成

令和7年3月3日 文責 諸藤貴子

「三年生を送る会」

～互いのありがとうの気持ちを込めて～

＜子どもたちへ＞

先週、生徒会執行部が企画運営し、生徒会会員が参加した集会は、感慨深いものでした。3年生は、転出された先生方からのお祝いのメッセージを笑顔と懐かしい気持ちで受け取っていました。また、入学当時の写真を見ながら、照れているようすもありましたが3年間の成長を自ら感じているようでした。1・2年生からの合唱のプレゼントをしっかりと受け取った3年生は、「栄光の架け橋」を気持ちを込めて全力で歌っていました。

1・2年生は、この生徒会行事を境に、これからの自分の「行い」について考え、自立にむけてのステップを積み重ねてほしいと思います。1・2年生の歌声は、素直で美しかったです。

二島中の子どもたちの心がいつもあたたかでありますように。



＜保護者のみなさまへ＞

私は前任校で、ある幼稚園の子育て講演会でお話をする機会をいただきました。そのとき、「笑顔は人を安心させる」という話をしたことを覚えています。

人と人をつなぐ手立てとして、笑顔が一番の近道だと思いますし、きっと目の前の相手を安心させることにもつながっています。

学校は、一生懸命育ててこられたお子様をお預かりして、「子どもの社会的自立」にむけて集団で学習活動をすすめています。褒め認め、子どもの話を聞き、寄り添いながら指導支援を繰り返していく学びの場所です。子どもたちは、かけがえのない命を大事にしながら可能性をひろげようと日々、奮闘しています。その努力をリードしたり支えたりすることが私たち大人の役割だと思います。子どもたちは、見たことや感じたことの中で、自分はどうすればいいか判断をしています。うまくいかず、解決に時間がかかることもたくさんあります。ときにご家庭でも話題になることもあると思います。お子様の人生の先輩として、任せることや見守ることを含め助言をお願いします。

＜お知らせ＞

3月 7日（金）卒業式

代表生徒が式に参加します。

24日（月）修了式・離任式